



道の駅うきはに防災備品整備のための寄付金をいただきました



左=九州地域づくり協会 田中理事長



道の駅うきは防災広場

2月7日、一般社団法人九州地域づくり協会より道の駅うきはに防災備品整備のための寄付金247万円をいただきました。

(一社)九州地域づくり協会は、地域防災体制の強化に資するため、令和3年度から災害時の防災拠点となる九州7県の道の駅59箇所に対し、防災備品の整備に係る支援を行っており、今回寄付をいただくことが決定しました。

道の駅うきはは、令和3年に全国39駅ある「防災道の駅」に県内で唯一選定され、さらなる防災機能強化が求められていることから、今後、いただいた寄付で発電機や防災倉庫などの備品を整備し、災害時の防災拠点として機能強化を図っていきます。

浮羽中 今村仁さんが福岡県代表として力走



1月22日に開催された天皇盃 第28回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会に浮羽中学校3年生の今村仁(いまむら・じん)さんが福岡県代表として出場しました。

今村さんは、11/19に開催された駅伝大会の福岡県選考会(中学男子3000m)で2位の結果を残し、メンバーとして選出。駅伝大会当日は6区(3.0km)を走り、8分59秒で区間10位の記録を残しました。

文化財防火デーに伴う火災防ぎょ訓練を実施！！



1月29日(日)に、「文化財防火デー」にあわせ吉井歴史民俗資料館にて、久留米広域消防本部浮羽消防署および地元のうきは市消防団第2分団と連携し、火災防ぎょ訓練を実施しました。

訓練では、消防への通報や初期消火、文化財(模擬)の搬出、消防への状況報告、放水訓練を実施し、消火活動の手順を学ぶとともに、貴重な文化財を保護していく取り組みを通して、文化財防火に関する意識を高めました。



うきは応援団！ 企業パートナー認定式



1月17日、アイサワ工業株式会社九州支店を企業パートナーとする認定式を行いました。

九州支店長 毛利さんは地域農産物の消費拡大を社会貢献の一つとして掲げていることから、年間をとおしてフルーツが収穫できる「フルーツ王国うきは」の知名度やブランド向上のために協力していきたいと語っていただきました。

市内3ヶ所で「水門ボット®」の 実証実験を行っています



株式会社オートマイズ・ラボ(久留米市)を主として、双日九州株式会社(福岡市)と株式会社 鷹取製作所(うきは市吉井町)、株式会社 乗富鉄工所(柳川市)が連携して、市内3ヶ所で水門の自動開閉が可能になる後付けの自動化機器「水門ボット®」を設置し、実証実験を行っています。

水門ボット®の設置により既存設備を取り換えることなく、そのまま用いて自動化・遠隔操作化が可能となります。後付け自動化は、環境に優しい省力化・DX化・安全性向上の技術です。この取り組みが、近年多発している豪雨等に対する地域防災対策の強化と被害の軽減につながることを期待されます。

大石親子凧揚げ大会



1月22日、大石放水路で第67回大石親子凧あげ大会(大石地区自治協議会主催)が開催されました。小雨にも負けず、干支にちなんだ凧をはじめ、様々なデザインの手づくり凧を飛ばしていました。

個人凧36個、団体凧4個のエントリーがあり様々な凧が大空を舞いました。当日参加した方々は笑顔で楽しんでいました。

浮羽中学校吹奏楽部「銀賞」獲得



令和4年12月10日・11日の2日間、柳川市民文化会館において開催された第51回福岡アンサンブルコンテストにおいて、浮羽中学校吹奏楽部が初出場ながら、見事に「銀賞」を獲得しました。

このコンテストは、県内各地から、中学校82校が出場し、浮羽中学校は、6名の生徒さんで、「3つの花(福田洋介作曲)」を管打楽器六重奏のアンサンブルで演奏し、吹奏楽の基本である「音を合わせる」「リズムを合わせる」「ハーモニーを響かせる」などの音楽づくりの要素が評価され、今回の表彰となったものです。